

久米小周辺の50年

～今昔マップを使って～

常陸太田市立久米小
5年 平塚世奈
川村文美・黒羽柚妃

調べる方法

今昔マップを使って地図に表しました。地図には載ってなくても、通学路や歩いて確認できる場所は書き加えたり、畑や針葉樹として色を塗ったりしました。また、久米小出身の先生や地域に詳しい方に話を聞き、昔の地図には載っていない小さな商店や当時の様子について書き加えました。道路の事については、役所などに電話をかけて教えてもらいました。世帯数や人口は市役所統計係の方に調べてもらいました。

調べた理由

3年生の社会科の時間に国土地理院の出前講座を受けました。その時、久米小付近の約50年前の写真を見てびっくりしました。今は、木がたくさん繁っている山の斜面(○の部分)が茶色の畑だったのです。そこで、今と約50年前では、土地の様子や利用の仕方がどのように変わったのかについて調べてみたいと思いました。

- 家
- 食料品
- 雑貨、文房具、日用品
- 医院、接骨院、歯医者
- 工場
- 美容院、GS、その他
- 公共施設や寺院



学校周辺の世帯数と人口の移り変わり

地区名	1988年		2003年		2019年	
	世帯数(新)	人口	世帯数(新)	人口	世帯数(新)	人口
久米地区	116	447	132	426	141	529
薬谷地区	82	325	151	520	274	844
大里地区	306	1214	692	2312	788	2137

「茨城県統計」より作成



山?畑?→畑→山

今昔マップの一番古い1928年～1945年を見ても1972年の畑のところは何に利用されているかは分かりませんでした。今の針葉樹の記号の所に△とかかれているだけです。戦争中は食糧難だったので、畑にしたのかもしれないそうです。畑で何を作っていたかは不明でしたが、田んぼがあって、沢の水を引いて米を作っていました。今は、田んぼは埋めてしまいました。また、昔の畑の所は杉や椿が繁っているのが植林したのかもしれませんが、はっきり分かる人が見つけれなかったのが残念です。

また、地理院地図ではいまだに畑マーク▽が付いていますが、1986年の新久米小開校の頃も2020年の現在もほとんど畑はありません。

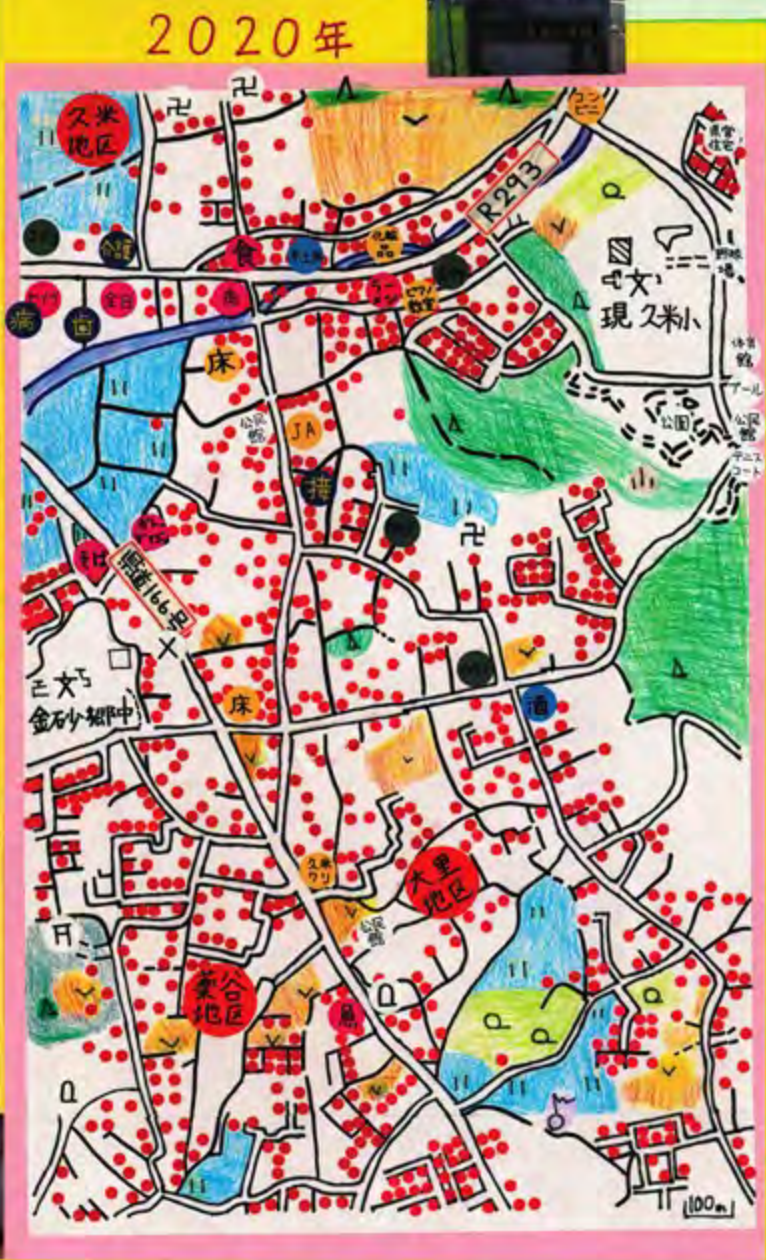


山を切り拓いて

学校・公園・野球場・住宅

1972年の地図では、あせ道や山道にしか見えない現久米小付近は1985年頃から開発が始まり、1986年に久米小の校舎が完成。次に校庭、それと同時に久米球場やプールやテニスコート等のスポーツ施設が建設されました。久米小の標高は49mですが、今昔マップによると65mぐらいだったと思われる。

また、旧久米小跡地は、現在は戸建ての県管住宅になっています。雑草木が少し残っているので、おもかげがあります。当時の写真では、久米小学校はプールによってとても見つけやすいです。



道路と家が増えた!

地図と表から昔に比べて家がたくさん増えたことが分かりました。

50年前は山に畑だった所(山だった所も)が住宅地になりました。前々あった畑は運交広がり、新しく道路を作ったりして、その道沿いに何軒かずつまとめて家が建ってきました。バラバラに開発が行われたせいか、家がすぐそこに見えるのに道が繋がっていないことも多く、通り抜けなければならぬこともあります。

1986年頃の写真では、大里地区は一部しか写っていないのははっきり言えませんが、薬谷地区はそれほど家が建っていません。薬谷地区は、2003年の県道266号の開通が大きく影響しました。旧道のバイパスとしてR293までつながり、道幅も広く便利になったので、宅地開発が盛んになりました。今回調べたメンバー3人が引っ越してきたのも2010年頃です。

表を見ると、薬谷地区は、世帯数が3倍以上、人口は2.6倍になりました。一方、久米地区と大里地区は、世帯数は増えているのに人口が減っています。(大里地区は、2003年に比べて)

中心は 旧道→R293

久米小が久米十字の近くにあって、旧道沿いにはたくさんのお店がありました。狭い道で、バスも通っていましたが、車も少なかったのもそれほど不便とは思わなかったそうです。

現在も残っているのは、歯屋、接骨院、床屋、少し離れた納豆工場の4軒のみです。十字付近は、道路が広がり、JAや公民館などがあつきます。

感想

今昔マップで地図作りをして、道路や家やお店が増えたこと、久米小が山だったこと、おたこの家が建っている所は畑だったことが分かりました。

また、50年前のことについて、くわしく知っている人がなかなか見つけられず大変でしたが、地理院マップの写真を手がかりに考えを広げることができました。